

COEワーキングペーパーの運用規程

2005/5/6

COE推進本部会議

若手研究者育成のための取組みの一環として、以下の趣旨にもとづきCOEワーキングペーパーを発行する。

1. 発行の基本的目的

COEワーキングペーパーは、本格的な学術論文執筆の準備段階にある若手研究者に、研究課題についての着想、研究進捗の中間報告、学会等での発表の成果などを積極的に文章化し、発表する機会を与え、研究論文執筆の基礎訓練に資するための場とする。

2. 対象者と投稿の義務づけ

主な執筆者として、博士後期課程に在学する大学院生を想定する。COE若手研究者育成のための助成対象者については、学会誌・専門誌等で査読付きのものへの投稿、あるいはそれに相当する研究業績の発表を行っている者を除き、当該年度に一本以上の投稿を義務づける。

3. 指導教員による執筆指導

ワーキングペーパーとしての性格から本格的な査読は行わないが、投稿にあたっては担当教員の指導を受けるものとする。

4. 執筆規定

投稿は、A4版で1ページ40文字×40行の設定とし、英数字は半角、年号は西暦を原則とする。和文または英文による抄録およびキーワードを付すこととし、和文抄録の場合は600字以内、英文抄録の場合は300語以内、キーワードはそれぞれ5語以内とする。ワーキングペーパーについての詳細な執筆規定は定めないが、日本社会福祉学会の執筆規定をホームページ <http://www.nihonfukushi-u.jp/coe/> 上から閲覧できるようにしてあるので、論文執筆にあたって心得ておくべき基本事項に則って執筆すること。

5. 投稿の方法

名古屋キャンパスのCOE推進室まで、印刷原稿とデータを納付すること。

6. 印刷部数

ワーキングペーパーは、本部経費により100部を印刷し、本学教員、COE関係研究者、希望する院生等に配布するものとする。執筆者の希望により印刷部数を増やす場合は、

拠点リーダーと指導教員の間で個別に協議する。

7．ホームページ上での公開

発行されたCOEワーキングペーパーについては、COEの研究成果の一端として、執筆者（所属大学院・課程）、タイトル、抄録をホームページ上で公開する。全文を公開するか否かについては、執筆者の希望と合せて、拠点リーダーと指導教員の間での個別の協議に委ねる。

8．その他の関連事項

COE若手研究者育成のための研究費支給対象者が、本学COEの個人あるいは領域の研究成果を学会・専門誌等で発表する場合は、「日本福祉大学21世紀COEプロジェクト若手研究者育成のための研究助成を受けた研究である」旨を明示するよう徹底し、原則としてその抄録をホームページ上で公開するものとする。

以上